

広報かのや 
Kanoya
KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS

11
November
2016
No.261

特集

混ぜればごみ
分ければ資源



大人の 社会学 見学

鹿屋の地で育まれた
名品・名産・名所などの
よかもんを紹介

株式会社J A 食肉 かごしま鹿屋工場



川西町3874-7
☎0994-43-1785



株式会社J A 食肉かごしま鹿屋とは、J Aグループの一員として、畜産農家と連携して鹿児島島の食肉を処理加工し、県内をはじめ全国、世界の消費者に提供しています。今回は鹿屋工場製造一課長の福永幸一さんに案内いただきました。



「J A 食肉かごしまと鹿屋との関係は、創業時までさかのぼります。昭和48年に新川町で創業した『株式会社鹿屋島くみあい食肉』が、J A 食肉かごしまの前身です。そして昭和58年10

月、工業用地として造成されていた現在の地で新工場の操業を開始しました。鹿屋は、質・量ともに日本屈指の畜産の街であるほか、食品加工などの工場が立地する環境や制度が整備されていることから、私たちの事業に最適な場所だと考えます。

弊社には食肉処理加工工場が2か所有り、一鹿屋工場では約230人の従業員が、鹿児島を代表するブランド食材である黒豚・茶豚を年間約26万頭、鹿児島黒牛を年間約2,000頭処理加工し、県内外の小売店や飲食店などに出荷しています。

工場でも重視しているのは、安心・安全の確保。平成17年には、品質管理の世界基準であるISO9001認証を受けました。そして、工場内での自主検査 J A 鹿児島県経済連の食品総合研究所による定期的なチェックなど、「畜産王国」の誇りと「かごしまブランド」の信頼に応えるため、安全性は特に徹底して追求しています。

私たちのモットーは、「産地食品メーカーとして、生産から販売まで一貫した、顔の見える体制」で、「美味しい、安心・安全」な商品消費者に届けること。地元畜産農家との連携や、J Aグループならではの「環境体制による生産・加工・販売、安全と品質と美味しさのこだわりは、これからも続けていきます。このこだわりが、生産者や取引先、従業員や地域から選ばれる企業であり続ける秘訣だと信じています。」



株式会社J A 食肉かごしま
鹿屋工場製造一課課長 福永幸一さん

ひと・まち・産業が躍動する「健康・交流都市 かのや」

広報かのや Kanoya

KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS

11 November 2015 No.261



今月のカバー

イチヨウ

昨年、田崎多目的運動広場で撮影したイチヨウ。氷点下の凍てつく寒さの中、イチヨウの葉が音を立てながら雪のように降り注ぎ、黄色いじゅうたんを作っていました。

目次 contents

- 03 大人の社会見学
株式会社J A 食肉かごしま鹿屋工場
- 04 特集
混ぜればごみ 分ければ資源
- 10 街フォトスクラップ
- 14 動き出した広域観光
- 16 装い新たに「鉄道記念館」リニューアル
- 18 新たな「地域おこし協力隊員」が着任！
- 20 情報掲示板
- 24 アクティブシニアライフ
- 25 市民のひろば
- 26 マチロク、
地域おこし協力隊かのや活動レポート
- 27 明日への扉
前田 将宏 さん



統計情報

平成28年10月1日現在(前月比)

- ・人口 / 103,239人 (+ 5)
- ・男性 / 49,277人 (- 7)
- ・女性 / 53,962人 (+ 12)
- ・世帯 / 45,158世帯 (+ 1)
- ・面積 / 448.33km²

市の花 ばら

結愛

ピンクでクラシカルな剣弁高芯咲きで、花弁が多く香りの強い品種。花つきがよく、樹形は直立性の細立ちでコンパクトサイズなので鉢植えにも向いています。



鹿屋市広報

- 鹿屋市ホームページ
<http://www.e-kanoya.net/>
- 鹿屋市公式 facebook
<https://www.facebook.com/Kanoya.City>
- 鹿屋市ラジオ広報番組
FMかのや(77.2MHz)
(月~金曜日、8:05~と16:05~)



Rena Theater

映画情報 君の名は。



夢の中で「入れ替わる」少年と少女の恋と奇跡の物語。これまで意欲的な作品を数多く作り出してきた新海誠監督が、世界の違う二人の隔たりとつながりから生まれる「距離」のドラマを圧倒的な映像美とスケールで描き出す。

- ◎ 上映時間 (106分)
①10時~ ②13時~ ③16時~ ④19時~
- ◎ 鑑賞料
一般 / 1,800円 大学生 / 1,500円
高校生以下 / 1,000円 60歳以上 / 1,000円

📞 リナシティかのや ☎0994-35-1001

※特別割引券は、1枚につきお一人限りです。また他の割引券との併用はできません。

11/12 日
12/16 金



割引券をお持ちの方は3300円
(高校生以下は1200円)を割引します。
※60歳以上は割引対象外です。
特別割引券
君の名は。

こんな時はどうするの？

資源物等を出す際に生じる様々な疑問。市に寄せられた質問の中から、代表的なものを紹介します。

- Q** 卵パックや弁当の空き容器などに付いているラベルは、付いたままですて良いですか？
- A** 汚れを落としてから、ラベルは付いたままですてプラスチック製容器包装の収集日に出してください。
- Q** 牛乳パックは、回収しているお店に持って行くのと、ごみステーションに出すのとどちらが良いですか？
- A** 排出者の選択になりますので、牛乳パックが適正にリサイクルされるのであれば、どちらに出されても構いません。
- Q** 工作したペットボトルは、資源物になりますか？
- A** マジックで色を付けたり、はさみで切ったりしたものは、リサイクルされにくいので、燃やせるごみとして出してください。
- Q** 金属の棚がさびて、触るとぼろぼろに崩れます。資源物に出せるでしょうか？
- A** ぼろぼろに崩れるほど、さびた金属は、燃やせないごみとして出してください。
- Q** トイレットペーパーやキッチンペーパーの芯を、紐でしばり、資源物の雑誌類で出そうと思いますが、かさ張ってしまいます。何か良い方法はないでしょうか？
- A** 芯をはさみで切り開いて広げてから、雑誌やノートなどの間にはさんで出してください。
- Q** 蛍光管や水銀式体温計は燃やせないごみですか？
- A** 蛍光管や水銀式体温計は割れないように購入時の箱に入れるか、新聞紙などに包んでから市役所本庁や各総合支所、各出張所などにある拠点回収ボックスに入れてください。
- Q** シュレッダーなどで処理した、小さい紙も資源物になりますか？
- A** 幅5mm、長さ5cm以上あれば資源物になります。

「鹿屋市ごみ分別一覧表」を活用しましょう



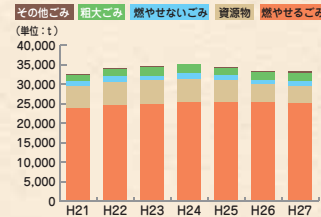
「鹿屋市ごみ分別一覧表」には分別の仕方やごみを出す時のポイントなどを詳しく掲載しています。お持ちでない人には、市役所本庁や各総合支所、各出張所、各学習センターなどでお配りしています。正しいごみの分別にお役立てください。



今後更に高齢化が進み、核家族、単身世帯が増加することにより、1世帯ごとに必要な生活用品が増え、ごみの排出量が増加することが予想されます。

燃やせるごみの中に資源が眠っている!?

今年8月、市では、ごみの減量化・資源化を図るため、寿・札元など6地区のごみステーションで「可燃ごみ組成調査(ごみ袋に含まれる資源物量の調査)」を実施しました(グラフ1)。



(グラフ1) 鹿屋市のごみ総排出量の推移

近年の市のごみ総排出量の推移をみると、平成13年に有料指定ごみ袋による排出制度を設けたことやコンポストの無償配布などごみの減量化を図ったことにより、家庭からのごみ排出量が少なくなり、平成20年度までは大きく減少しました。

しかし、平成21年度を境に、

35・7%は「生ごみ」であることが分かりました。生ごみには大量の水分が含まれており、燃やせるごみとして出すと、焼却施設での処理に莫大なエネルギーが必要となります。生ごみ処理機などの自家処理によって、いかに生ごみを出さないようにするかということ、やむを得ず燃やせるごみとして出す場合でも、水切りによって水分を減らすことが、ごみの排出量や処理費用の削減に重要です。またリサイクル可能な「古紙類」の割合は9・6%で、他に衣

平成24年度にかけてごみの総排出量が増加傾向を示し、更なるごみの減量の施策を講じる必要が出てきました。

これを受けて、平成25年度から使用済み小型家電の分別収集の拡充や、家庭用生ごみ処理機器等設置補助事業などによる生ごみ減量化の推進、ごみ分別チラシの全戸配布などによるごみ減量意識の浸透に取り組んだ結果、ごみ総排出量は再び減少に転じています。

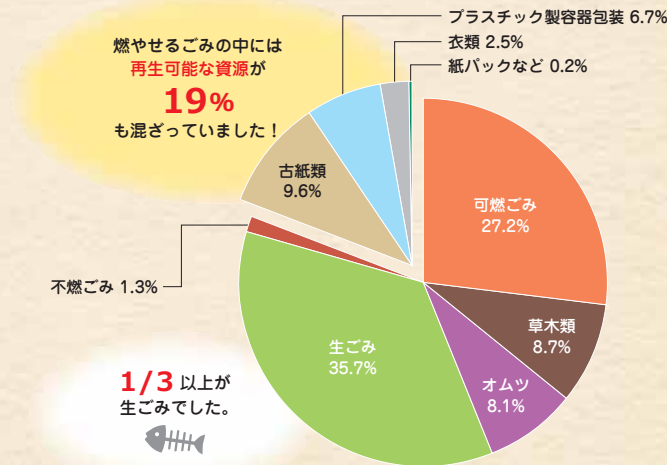
しかし、ごみ総排出量が減少しているとはいえ、資源物を除く燃やせるごみなどの排出量は、平成21年度以降2万8,000トン前後で推移しており、高止まりの状態にあると言えます。

また近年の市の人口は、緩やかな減少傾向にあるにもかかわらず、総世帯数が増加しています。

類や紙パックなどの資源となるものを含めると、全体で19%は資源物として再資源化できるものを含まれていることが分かりました。分別を徹底することにより、ごみの減量はもちろんのこと、資源物として処理すること、ごみ処理経費の削減や資源のリサイクルにつながります。ごみ分別一覧表を活用するなどして適切な分別をお願いします。

埋め立て処分場にもやがて限界が:

燃やせるごみ袋の中を調べてみると…



(グラフ2) 平成28年度可燃ごみ組成調査結果

市の昨年度のごみの総排出量は3万3,240トン。これは市民一人あたり一日に866グラムのごみを出していることとなります。ごみを減らすため私たちにできることは?一緒に考えてみましょう。

未来に残そう 限りある資源

混ぜればごみ 分ければ資源

開市生活環境課(5階) ☎0994-311115

私たちのごみはどこへ行くの？

ごみステーションや拠点回収施設に出せば、いつの間にか回収されているごみ。いったい私たちが出したごみはどのような経路をたどって処理されているのでしょうか。ごみの行方を追ってみました。

埋め立て



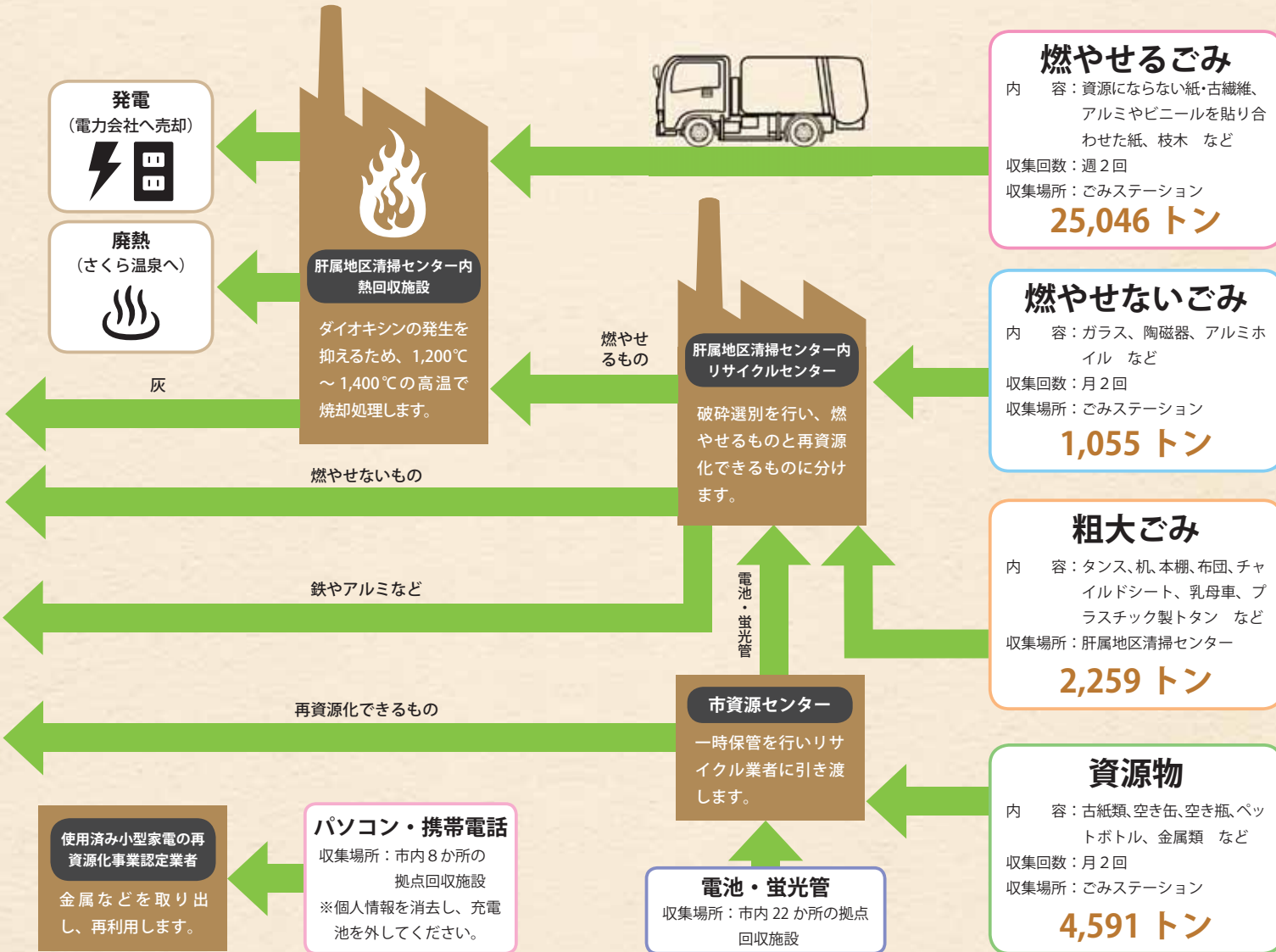
燃やせるごみを焼却した灰や燃やせないものは錦江町田代の「肝属地区大根田最終処分場」に埋め立てられます。試算では、ここに埋め立てることができるのはあと約9年。少しでも長く利用できるようにごみの分別やリサイクルを徹底する必要があります。

リサイクル

分別収集された資源物は、各リサイクル業者に売り渡し、種類ごとのリサイクルルートにより再生利用され、新しい製品に生まれ変わります。

また、資源物をリサイクル業者に売り払った収入は、ごみの処理経費に充てています。

古紙類⇒新聞紙、トイレットペーパー
空き瓶⇒再利用又は路面材など
空き缶⇒鉄鋼原材料、アルミ製品
使用済み小型家電⇒レアメタル



ペットボトルはこうして生まれ変わる!!



普段何気なく飲んでるペットボトルもリサイクルされ意外な製品に生まれ変わっています。その意外な製品とは？

廃食用油回収ポストを ご利用下さい

家庭で使用した油をそのまま排水溝に流すと、川や海を汚す原因となるため、市では、市内29か所に廃食用油回収ポストを設置し、廃食用油を拠点回収しています。

回収した廃食用油は、石けんやキャンドル作りの材料に使用し、環境教育等に活用されます。

回収ポストは、市役所本庁や各総合支所、各出張所、各学習センターなどに設置してあります。詳しくは、「鹿屋市ごみ分別一覧表」をご覧ください。



「4R運動」を 実践しましょう

「4R運動」とはごみの減量に関する4つの言葉の頭文字から名付けられました。「4R運動」を実践して環境にやさしい、無駄のない暮らしを目指しましょう。

Refuse【断る】

～ごみとなるものを家庭の中に持ち込まない～

- 買い物にはトートバッグなど、買い物袋を持って行き、レジ袋は断りましょう。また過剰包装も断りましょう

Reduce【減量】

～物を大切に使い、ごみを減らす～

- 必要な物は買わない、もらわないようにしましょう

Reuse【再使用】～使える物は、繰り返し使う～

- 詰め替え用の製品を選びましょう

- いらなくなった物を譲り合ひましょう

Recycle【再資源化】～資源として再利用～

- ごみを正しく分別しましょう

- ごみを再生して作られた製品を利用しましょう

水切りや生ごみ処理機などを活用しましょう

生ごみは約80%が水分です。十分な水切りを行うことで、ごみ減量につながります。水切りを行ううえでのポイントは、①調理中に生ごみをできる限り濡らさないこと、②生ごみを細かく刻んで乾燥しやすくすること、③水切りネット等を利用することです。さらに、生ごみは家庭用生ごみ処理機等を使用することで、堆肥としてリサイクルができます。市では家庭用生ごみ処理機等の購入の補助を行っていますので、生ごみの減量化に活用してください。



補助制度の内容

種類	補助額
電気式生ごみ処理機 (1世帯1基まで)	購入額の3分の2 (上限30,000円)
コンポスト容器 (1世帯2基まで)	購入額の3分の2 (1基につき上限2,800円)
密封発酵容器 (1世帯2基まで)	購入額の3分の2 (1基につき上限1,400円)

◎対象者

市に住民登録している世帯主

◎対象品

市内の店舗で購入したもの

◎申請期限

購入日から90日以内

※申請に必要なものなどについては市生活環境課にお問い合わせください。

生ごみを減らす 工夫をしましょう

余り物の食材や、食材をまるごと使用する調理方法など、生ごみを出さないアイデアはインターネットなどで多く紹介されています。ご家庭でできる生ごみ減量に取り組んでみましょう。

野菜の皮のきんぴら

◎材料

余った野菜の皮=50g程度 サラダ油=小さじ1杯
塩コショウ=少々 砂糖=小さじ1杯 水=大さじ1杯
しょうゆ=大さじ1/2杯 たかのつめ=1かけ

◎作り方

- ①野菜の皮を細切りにします。
- ②熱したフライパンにサラダ油を引き、野菜の皮、たかのつめを入れて炒めます。
- ③しんなりしてきたら、塩コショウ・しょうゆ・水・砂糖を加えて、かき混ぜながら、汁気が無くなるまで炒めます。



ごみの減量 リサイクル

～わたしたちに
できること～

私たちが生活するうえで、まったくごみを出さないということはできません。しかしごみを減らし、限りある資源を未来につないでいくのは私たちの使命。ささいなことでも構いません。まずはできることから実践してみましょう。

出前講座、ごみ分別相談コーナーを利用しましょう

生活環境課では、ごみの減量化・分別方法等について、分かりやすく説明する「ごみ分別出前講座」を行っています。講座は事前に申請が必要で、町内会、PTAなど少人数のグループが対象です。

紙パックが何枚集まると、トイレトーパーに生まれ変わるのかのクイズなど、ごみの減量化・分別方法以外の話も行います。

生活環境課の窓口、または電話、FAXなどで申請を受け付けていますので、仲の良いお友達などと一緒に気軽にご参加ください。

また、月に一度、学習センター等に「ごみ分別相談コーナー」を開設し、ごみの分別方法を掲載した分別パネルを展示して、ごみの分別・排出方法の相談にお答えしています。開設場所、時間は、防災行政無線、FMかのかのや、町内会回覧チラシ等で確認するか、直接、お問い合わせください。

相談は、事前申し込みの必要はありませんので、ごみの分別や排出などでお困りの時はお気軽にお立ち寄りください。



今後のごみ分別相談コーナーの予定

日時	場所
12/16 (金) 13:00～16:00	高須出張所
1/17 (火) 9:00～12:00	吾平振興会館

選を行っています。

衣類・バッグなどの小物は1人1回につき5点まで持ち帰ることができ、家具や自転車などは毎月3日曜日の10時から抽選を行っています。

リユースコーナー

家庭で不要になったものを持ち寄り、どなたでも持ち帰ることができリユースコーナーを設けています。

講座

古布を使った小物作りや廃食用油を使った石けん作りなどの講座を開催しています。「広報かのや」でも随時募集を行っていますのでぜひご参加ください。

肝属地区環境ふれあい館

〒0994-6218101



肝属地区環境ふれあい館
あい館に行こう!

私自身がごみに関し、気を付けていることは、ごみ分別一覧表に印をつけて見やすくしていることと、コンポストを活用して生ごみを出さないようにしていることですが、皆さんにも分別一覧表を見るなどして、マナーを守ってごみを出してもらいたいと思います。

一人ひとりがよく考えて20年前に退職して、東京から鹿屋に来ました。当時はまだ、ごみステーションに覆いが無い所が多く、カラスなどがごみを荒らすことも多かったため、廃材を使って市内9か所の「ごみステーション」にポランテアでネットや出入り口などを設置しました。同時にごみステーションを見回って分別されていらないごみの分別などを行いました。現在でも町内2か所のごみステーションの清掃や持ち帰れなかったごみの分別などを行ってまいります。20年前に比べるとだいぶマナーは良くなっていますが、まだまだです。



くりした まさひろ
栗下 正次 さん
(西原2丁目)

街フォトスワラップ

みんなのイマをパシャ!!

イベント 福祉に触れ合い考える



10月16日、リナシティかのやで、「2016鹿屋市ふれあい福祉まつり」が開催されました。当日は、保健福祉に寄与された人などへの表彰が行われた後、拉致被害者家族の市川健一さん、龍子さん夫妻による講演が行われました。

このほか、会場では手話やボランティア、セラピードッグとの触れ合いなどの体験コーナーが設けられ、多くの来場者が楽しんでいました。

ハロウィンクルージングをおもてなし



10月15日、桜島フェリーで錦江湾を周遊する「ハロウィンクルージング」が行われ、古江港にフェリーが寄港しました。

255人の参加者は、ハロウィンならではの趣向を凝らした仮装姿で上陸し、鹿屋市漁協青年部などの熱烈な歓迎を受けました。また、鹿屋・太陽の食材の販売や子ども向けのお菓子の家、カンパチダンスなどのイベントで、鹿屋の魅力を満喫していました。

産 業 カンパチを使ったドリアを発売



10月21日、市役所で「カンパチドリア」の新発売を記念したPR活動が行われました。

このドリアは、かのやカンパチのミンチを混ぜ込んだケチャップソースの上に、濃厚なホワイトソースやチーズ、カンパチのほくし身などを乗せ香ばしく焼き上げたもの。

11月21日まで鹿児島県と宮崎県のファミリーマートで販売されています。

障がい者のアートを発掘



10月24日から30日まで、市役所市民ホールで「第2回鹿屋市障がい者絵画作品コンクールArt展」が開催されました。これは、障がい者のアートを発掘するため、昨年度から開催しているもので、今年は52の作品を展示。

初日はオープニングセレモニーとして、優秀賞受賞者への表彰式も行われ、来場者から大きな拍手が贈られました。

サクラクレパスと立地協定を締結



10月25日、市役所で株式会社サクラクレパス鹿児島工場と市との立地協定調印式が行われました。これは、吾平町麓の同社の隣接地に、新たな工場を2棟増設することに伴い行われたもの。同社の久木山元成取締役社長は「地域経済の活性化に貢献したい」と話していました。

新工場は来年3月末に操業予定で、新たに15人ほどの雇用が見込まれています。

「関西串良会」総会



10月16日、大阪市で「平成28年度関西串良会総会」が開催され、関西地区在住の串良町出身者など約80人が参加しました。総会では昨年度の事業報告やふるさと会活動支援事業の説明などが行われました。また、懇親会では今年高校を卒業し、串良町から関西に就職した会員2人の紹介が行われたほか、踊りや抽選会などに盛り上がりました。

打馬町内会で「私の作品展」



10月15日・16日、打馬公民館で「第17回私の作品展」が開催されました。これは、毎月公民館で行われているサロンで作った作品や、個人が趣味で制作している作品などを持ち寄って、年に1度、お互いの作品を展示するものです。

地域 戦没者の御霊を慰める



10月15日、串良平和公園慰霊塔前広場で「旧海軍串良基地攻撃戦没者追悼式」が開催されました。小雨の中、式典には全国から集まった遺族や元特別攻撃隊員など約200人が参列。慰霊塔にまつられている537柱の御霊に黙祷を捧げました。そのあと、参列者の献花、遺書や作文の朗読、「同期の桜」の合唱により、戦没者の冥福を祈り、恒久平和を誓いました。

「関西吾平会」総会



10月23日、大阪市のホテルで「第21回関西吾平会総会」が開催され、関西地区在住の吾平町出身者など106人が参加しました。

総会では昨年度の事業報告やふるさと会活動支援事業の説明、鹿屋市の近況報告などが行われました。また、総会後の懇親会ではギター演奏などのアトラクションがあり、同郷の仲間同士で旧交を温め、大いに盛り上がりました。

ボランティア 4地域を一斉に清掃



10月11日、13日、23日の3日間、市内各地で鹿屋市シルバー人材センターによるボランティア活動が行われました。鹿屋、輝北、串良、吾平の4つの支部がそれぞれ地域で、除草や刈払い、剪定作業等を実施しました。

「やしの木」をきれいに



10月11日、市役所駐車場及び霧島ヶ丘公園で、株式会社九電工鹿屋営業所と関係企業の皆さんによるボランティア作業が行われました。参加者は高所作業車を使い、高いやしの木を葉を伐採していました。

イベント
環境フェスタを開催



10月23日、リナシティかのやで「平成28年度環境フェスタ」が開催されました。これは、身近なところにある環境問題への理解と関心を深めてもらおうと行われたもの。
当日は、図画コンクール・緑のカーテンコンテスト表彰やパネル展示、環境ワークショップなどが行われたほか、「モノ・モノ・コウカンプロジェクト」では、大勢の来場者が、持ってきた子ども服やおもちゃなどお目当ての品物を交換していました。

式典
結婚50年をみんで祝福



10月26日、市内のホテルで「平成28年度鹿屋市合同金婚式」が開催されました。
この日は、結婚50年を迎えた92組の夫婦が出席。50年前の出来事や当時流行した音楽などを交えた映像とともに、これまでの50年のあゆみを振り返りました。
また、信愛こどもの園の園児によるお祝いの言葉やお遊戯の披露があり、出席者は目を細めながら拍手と笑顔で心えていました。

農業
新規就農者の本格出荷を祝う



10月24日、吾平町下名で新規就農者の「ピーマン」はさみ入れ式が行われました。
これは、昨年から吾平町の農家で研修を受けた釘田智宏さん、茅場博人さん、鳥丸光太郎さんの3人が生産するピーマンの出荷が本格化したことから行われたもの。
研修での苦労や、9月に上陸した台風16号などを乗り越えて迎えた本格出荷を、みんなでお祝いしました。

安全安心
地域の安全安心を願う



10月11日、寿一里山差釜一帯で、「平成28年全国地域安全運動出発式」が行われました。式では笠之原保育園の園児が「知らない人にはついて行きます」と宣言した後、鹿屋警察署員やマスコット「たかま巡査どん」による、地域安全啓蒙ソングの披露がありました。その後、約100人の参加者がチラシ配布などを行い、地域の安全安心確保を呼び掛けていました。

スポーツ
新コースでの駅伝ゴールに歓声



10月10日、輝北町の輝北コミュニティセンター周辺で、「輝北駅伝競走大会」が開催されました。
この大会は旧小学校区対抗で行われ、4チームが参加。これまで輝北ダム周辺で行われていましたが、今回は新コースでの走りとなり、走者も声援を送る人も熱が入っていました。
優勝Ⅱ市成 2位Ⅱ百引 3位Ⅱ高尾 4位Ⅱ平南

スポーツ
トップコーチから戦術を学ぶ



10月9日、市中央公園テニスコートで「ジュニア強化練習会」が行われました。
これは、2020年度鹿屋国体に向けて、第一線で活躍する有望なテニス選手を育成するため行われたもの。
当日は、錦織圭選手を5歳から8年間指導していた柏井正樹さんが講師を務め、参加した市内の小中学生22人に、勝つための戦術を重視した指導を行っていました。

議会



市民の皆さんに議会報告
10月17日・18日、20日・21日、23日の5日間、市内11か所の会場で議会報告会が開催されました。これは市議会への理解を深めてもらおうと毎年開催しているもの。
各会場では、市議会の概要と役割についての説明や定例会等の審議内容と結果、委員会活動についての報告が行われたほか、参加者との意見交換が行われ、市議会の取り組みなどについて活発な意見が出ていました。

教育



自慢の英語力を競う
9月30日、リナシティかのやで平成28年度鹿屋中学校英語唱読弁論大会が行われました。
これは、市内中学校の英語力向上と、まとまりのある英文を唱読し、身近な話題を取り上げ、自分の考えを表現したりすることに力をつけて、実践的コミュニケーション能力を身につけることを目的に行われたもの。
当日は、市内の中学生48人が参加し、表現などを工夫しながら自慢の英語力を競いました。

来訪
ボランティア活動で表彰



10月28日、長年にわたる町内会ぐるみでの防犯や交通安全への取り組みを評価され、文部科学大臣表彰を受賞した「川西町内会地域安全パトロール隊」の白木川重行隊長ら3人が、市役所を訪ねました。

租税教育活動プレゼンで日本一



10月17日、9月に行われた「第30回法人会全国青年の集い北海道大会」の租税教育活動に関するプレゼンテーションで、全国441法人会組織の中から日本一に輝いた鹿屋肝属法人会青年部会のメンバーが市役所を訪ねました。

絵画で最優秀賞を受賞



10月18日、9月に行われた「県シルバーク文化作品展」に油絵を出品し、最優秀賞となる県知事賞を受賞した、鹿屋市シルバーク人材センター会員の吉村義一郎さんが関係者とともに市役所を訪ねました。

食改設立50周年で記念式典



10月15日、市文化会館で「鹿屋市食生活改善推進員連絡協議会設立50周年記念式典」及び映画上映会が開催されました。これは昭和41年に鹿屋市栄養改善推進協議会として設立されてから50年の節目に当たることから行われたもの。
式典では、3人の食生活改善推進員による活動発表が行われ、参加者はメモをとるなど、熱心に聞き入っていました。



かのやばら園（鹿屋市）



垂水千本イチョウ園（垂水市）



佐多岬（南大隅町）



花瀬公園（錦江町）



フォレストアドベンチャー
おおすみ（曾於市）



内之浦宇宙空間観測所（肝付町）



大慈寺（志布志市）



くにの松原（大崎町）



柏原海岸のルーベーン（東串良町）

動き出した広域観光

本市を含む大隅4市5町の民間事業者と行政で組織された「おおすみ観光未来会議」が今年の5月に発足しました。今回は、動き出した大隅地域の広域観光の取り組みについて、ご紹介いたします。

大隅広域観光開発推進会議（市ふるさとPR課内・2階）
☎ 0994-31-1176

これまでの広域観光

大隅地域の4市5町（鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町）は、これまで行政が主体となつて、広域的な観光振興、特産品振興に関する事業を展開していましたが、人口減少・少子高齢化が進む中で、今後、国内外からの観光客の流れをいかに戦略的に創出していくかが課題でした。

昨年12月から観光庁は、交流人口を拡大させ、地域を活性化するために、日本版DMO候補法人の登録を開始しました。大隅地域でも今年3月に新たな民と官の連携組織が立ち上がり、日本版DMO候補法人として登録されたほか、名称も「おおすみ観光未来会議」に決定しました。

観光を取り巻く動き



INTERVIEW

大隅半島には手付かずの 豊富な魅力がいっぱい



大隅広域観光
コーディネーター
石田一彦さん

大隅地域の観光を「経営」の視点に立ち、観光地域づくりのかじ取り役を担う大隅広域観光コーディネーターとして、今年4月に就任し、あつという間に7か月が過ぎました。

大隅半島4市5町を駆け回り、見て聞いて味わって感じたことは、歴史、自然、食材などの資源の豊かさ、それがいまだに手付かずで残っている未開拓の豊かさです。

それらがいかに観光に結び付け、大隅半島に訪れる人を増やし、地域を活性化させるきつかけにするかが、今後のキーポイントとなると考えています。

また、大隅地域は日本版DMO設立という全国でも先進的な取り組みにチャレンジしています。大隅地域の未来について地域の皆さんと一緒に考える仕事に、就任当初よりも期待が膨らんでいます。

大隅を知る データに基づく戦略

「おおすみ観光未来会議」では、91団体の会員が、まずは「大隅を知る」ことから始めています。自分たちの住んでいる地域の強み・弱み・課題を把握し、現実をしっかりと見つけ直す作業を丁寧に行っています。

今後は顧客満足度などのマーケティング調査を行うとともに、大隅の観光地域づくりを戦略的に推進するための計画策定を行います。また、地域資源の観光素材を磨き、旅行商品や体験プログラムの開発・販売などを行い、魅力ある大隅を地域外に積極的に情報発信していきます。



5つの部会で大隅のことを熱く議論しています

新しい観光地域づくりの可能性

「おおすみ観光未来会議」の取り組みについて、執行部会長の有園あつこさんは、次のように

「おおすみ観光の未来を創る会」開催！

大隅広域観光コーディネーターの石田一彦氏の活動中間報告会を開催します。また、地域で活躍する「ふくどめ小牧場」の事例発表のほか、日本で唯一の感動プロデューサーによる講演会も開催されます。全国的に先進的な取り組みを進めている大隅地域の観光の未来を一緒に考えてみませんか？

日時 11月22日（木） 15時から

- 第1部 (15:00～)
活動中間報告「大隅の観光を考える」
大隅広域観光コーディネーター 石田一彦氏
- 第2部 (15:45～)
事例発表「ふくどめ小牧場の“夢”」
ふくどめ小牧場 福留洋一氏
- 第3部 (16:25～)
おもてなしセミナー
「感動力～大隅のファンを生み出すおもてなしの魔法～」
感動プロデューサー 平野秀典氏

場所 リナシティかのや 3階ホール

入場料 無料

「住んでよし、訪れてよ し」の地域を目指して

「おおすみ観光未来会議」では、会員提案のプロジェクトにも積極的に取り組み、観光客が訪れたいくなる仕掛けを行います。



「大隅半島体験プログラム」
※大隅半島の魅力的な20の体験メニューを用意し、参加者を募集（平成29年1～2月開催）

持つ大隅地域が一体となり、観光地域づくりを進めることで、点から面での情報発信やお客様の受け入れを行うことができるのではないかと、希望を胸に新しいチャレンジをしていきたいです。

また、地域が一体となり広域観光の取り組みを推進することで、地域の産業振興、地域への誇りや愛着の醸成などを図り、「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりを目指します。



2 明るく見やすく
展示資料も充実！



展示内容・環境の整備で、資料館としての価値も向上

資料館内全体の照明を見直しました。環境への配慮と、より見やすくするために、照明をLED化しました。

また、資料展示のレイアウト見直しを行いました。鉄道模型ジオラマを取り囲むように資料を展示しているほか、旧吾平駅跡にあった「吾平町鉄道資料館」の資料を集約し、展示を充実させました。

なお、吾平町鉄道資料館については、平成27年9月に閉館し、現在は市基幹型地域包括支援センターとして活用しています。

1 在りし日の大隅線の
勇姿が映像で復活！



60インチディスプレイの中で大隅線が復活

正面入り口から入って右側の奥に新しく、「あの日の大隅線」映像コーナーを設置しました。

市内を走行する車両の勇姿や鉄道を利用していた人へのインタビュー、運転士の目線から見た大隅線の風景や保線作業の様子など、在りし日の大隅線や沿線の生活の様子などを映像で楽しめます。

また、昭和62年3月13日の、旧国鉄大隅線廃線の記念式典の様子が、廃線を惜しむ利用者の様子を撮影した、貴重な記録映像も見ることができます。

4 鉄道模型がより大きく
より見やすく！



台数も増えてダイナミックになった鉄道模型

正面入り口から入って左側には、大型の鉄道模型を展示しています。

今回のリニューアルでは、ガラスケースを大きくし、見やすく改修しました。大きさは約370cm×240cm、畳5枚ほどの面積で、ダイナミックな走行風景を楽しむことができます。また、自分で運転できる鉄道模型も展示しています。

日本各地を走る様々な種類の鉄道を、自分の好みで走らせることができるのが、鉄道模型ならではの魅力です。

3 キッズコーナーで
子どもも楽しめる！



鉄道玩具や鉄道模型は、子どもが鉄道に親しむ第一歩

小さい子どもにも鉄道に親しんでもらうことを目的として、キッズコーナーを新たに設置しました。

キッズコーナーには鉄道玩具を整備し、自由に遊ぶことができます。子どもの興味に合わせて、鉄道玩具や鉄道模型で遊んでもらい、鉄道へ親しんでもらうとともに、幅広い世代で楽しめる記念館になりました。

鹿屋に鉄道が通っていたことを知らない世代が子育て世代となっている今だからこそ、親子で楽しめる鉄道資料館になりました。

鉄道記念館サポーター

- 上迫 英一さん (元・国鉄職員)
- 永吉 祐治さん (元・国鉄職員)
- 中村 幹雄さん (元・国鉄職員)
- 小手川 清隆さん (大隅線研究家)
- 塚元 常之さん (鉄道愛好家)
- 濱 宏行さん (鉄道愛好家)
- 富吉 郷太さん (鉄道愛好家)

「鹿屋の鉄道の歴史を末永く伝えたい」という思い。これからは鹿屋の鉄道の歴史のために役に立てば、と思います。

サポーターに共通するのは、



かみぎき えいいち 上迫 英一さん (元・国鉄職員)

INTERVIEW

私たち「鉄道記念館サポーター」7人は、今回の鉄道記念館リニューアルにあたり、それぞれの得意分野ごとに監修をさせていただきました。ロゴのデザイン、鉄道模型、展示品など、鉄道記念館の再出発に携われたことは、嬉しくもあり、感慨深くもあります。



装い新たに「鉄道記念館」リニューアル

市では、旧国鉄大隅線の貴重な歴史を末永く伝え、広く公開する施設である「市鉄道記念館」を全面リニューアルしました。

これまでの鉄道記念館

大隅半島を横断する旧国鉄大隅線は、大隅半島の主要な公共交通機関として、半世紀にわたって旅客・貨物輸送などを担っていましたが、昭和62年3月に廃止されました。

大隅線の歴史を後世に伝えるため、昭和63年、鹿屋駅跡地に鉄道記念館が建設され、鉄道の歴史を学ぶ施設として、その役割を果たしてきました。

開館以来、多くの人に親しまれてきましたが、経年劣化への対応や、平成29年3月には大隅線廃止から30年の節目を迎えることなどからリニューアルを行い、9月30日にリニューアルオープンしました。

愛称とロゴマーク

新たに「鹿屋驛」という愛称をつけました。大隅線や鹿屋駅の懐かしさを多くの皆さんに感



でもらい、楽しめる鉄道記念館となることを願ったものです。また、新たなロゴマークを作成しました。SL・レール・鉄道信号・旧鹿屋駅の線路の形、鉄道記念館の三角屋根をモチーフにして、「KANUYA」の文字を表現したものです。

鉄道記念館サポーター

リニューアルにあたり、元・国鉄職員や鉄道愛好家など7人から「鉄道記念館サポーター」を委嘱し、協力いただきました。実際に鉄道運行に携わっていた人ならではの深い視点や、鉄道愛好家ならではの幅広いアイデアでリニューアルを監修していただき、より魅力的な記念館に生まれ変わりました。

次のページでは、リニューアルのポイントを紹介します。

市総務課 (3階)

☎0994-31-1127



かのや
畜産応援隊

やまもと けいし
山本 憲士 隊員 (26歳)

平成2年静岡県掛川市生まれ。大学卒業後、静岡県富士宮市の観光牧場に就職。10月1日から地域おこし協力隊員として畜産課に所属。現在、市内の畜産農家で研修中。主な業務は、畜産農家で飼養管理等のノウハウを習得し、情報発信を行うこと。

「以前勤務していた観光牧場では学べなかった飼育管理全般や経営などについても学んでいます。出産にも立ち会ったり、せり市に行ったりと、初めてのことに多く大変勉強になります。地域で得た人脈を大切に、将来、就農したいと考えています」

いもと かな
井本 佳奈 隊員 (25歳)

平成3年大阪府堺市生まれ。専門学校卒業後、山本隊員と同じく富士宮市の観光牧場に就職。10月1日から地域おこし協力隊員として畜産課に所属。現在、市内の畜産農家で研修中。主な業務は、畜産農家で飼養管理等のノウハウを習得し、情報発信を行うこと。

「観光農場では主に乳牛の世話をしていました。乳牛は毎日搾乳があるので人に慣れていますが、それに比べて肉用牛は繊細なところがあるような気がします。少しでも早く飼育技術を学びたいですね。活動内容の発信や、観光イベントの実施・運営もできたらと思っています」



かのや
畜産応援隊

まつもと こうじろう
松本 功次郎 隊員 (30歳)

昭和61年大阪府大阪市生まれ。大学卒業後、飲食店を中心に様々な職種のアルバイトを経験。10月1日から地域おこし協力隊員として、吾平総合支所住民サービス課に所属。主な業務は吾平町神野地区の自然や食の活用、神野ブランド特産品の開発。

「昔から自然が豊かな所に住んでみたいと思っています。神野地区はいろんな可能性を秘めていると思います。地域住民の皆さんと一緒に様々な事業がやれたらと思っています。そして、この地域資源で地元が豊かになれるようにしたいですね」

日本一の
ふるさと
教え隊



地域おこし協力隊

地域をおこす！

新たに5人の隊員が誕生しました！

「地域おこし協力隊」は、平成21年度に総務省が創設した事業で、過疎化や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力を維持・強化することを目的としています。具体的には、地方自治体が都市住民を受け入れ、「地域おこし協力隊員」として委嘱し、一定期間以上、農林漁業の応援、水源保全・監視活動、住民の生活支援など、様々な地域協力活動に従事し

ながら、地域への定住・定着を図るものです。鹿屋市は平成26年度から導入し、これまで5人の隊員が様々な分野で活躍しています。そして、また新たに5人の隊員が仲間入りしました。今回の5人の着任で、市内の「地域おこし協力隊員」は10人となりました。隊員たちの今後の活躍が期待されます。

☎0994311147
■市地域活力推進課(3階)



マチの
ファンづくり
仕掛け人

たじり
田尻 ゆう子 隊員 (31歳)

昭和60年鹿屋市生まれ。大学卒業後、東京都内のコンサルティング会社に就職。8月1日から地域おこし協力隊員として、市商工振興課に所属。主な業務は中心市街地の基本戦略策定や民間投資を誘発する仕組みづくり。

「着任以来、中心市街地の現状を把握するために、約600か所を回って調査し、地図に落とししていく作業を行いました。今後は、この情報をもとにシステムを作り、空き地・空き店舗の利活用促進につなげていけたらと思っています。また、イベントの企画・運営にも積極的に携わっていきたいです」

ふくもと やすひろ
福元 康洋 隊員 (32歳)

昭和59年鹿屋市生まれ。昭和63年福岡県春日市に転出。高校卒業後、春日市内で料理人の道へ。9月1日から地域おこし協力隊員として、輝北総合支所産業建設課に所属。主な業務は酪農資源を使った乳製品や、輝北産農畜産物を活用した特産品等の開発。

「先日、試作品として『輝北みるくプリンシュー』を作りました。星の形の牛乳プリンを乗せた、かわいいシュークリームで、試食いただいた方に好評でした。次はさっそく3種類のプリンロールケーキを作る予定です。『輝北イコール、私の作ったお菓子』となるように、早く商品化できたらと思っています」

輝北町
特産品等開発
推進員



募集・申請

平成28年度リナシテイかのや「年末年始特別講座」の受講生を募集

内容及び日時等

Table with 4 columns: No, 講座名, 期日, 時間. Contains 8 rows of course information.

※応募多数の場合は抽選。定員に満たない場合は、開講できない場合有り

- 対象者 大隅地域に在住している18歳以上の社会人
○定員 15人
○市内在住の人 500円
○市外在住の人 1,000円
※いずれも別途材料費が必要

第35回「鹿屋市美術展」への出展作品を募集

- 展示期間 平成29年1月22日(日)～29日(日)
○展示時間 9時～19時
※最終日は15時まで
○場所 リナシテイかのや2階ギャラリー
○応募部門 洋画、日本画(水墨画を含む)、彫刻、工芸デザイン、写真、手工芸
○応募資格 高校生以上
○応募点数 各部門1人4点以内
○作品規格 次の要件を満たし、いずれも未発表のもの
○洋画・日本画 20号以上50号Sまでとし、縁幅5cm以内の仮縁。ガラス不可、アクリル可
○彫刻 大きさは等身大まで、重さは70kg以内
○平面デザイン B全・B2パネル張り
○工芸 平面は洋画に準じ、立体は70kg以内
○手工芸作品 平面作品は150cm×150cmまで、陶芸作品は60cm×60cm×60cmまで、立体作品は150cm×100cm×60cmまでとし、いずれも



- 10kg以内
※複数小作品の場合は固定して出品
○写真 半切以上大全紙までとし、木製パネル貼り又は仮縁作品の裏面に住所・氏名・電話番号・題名を必ず記入
○出品料 1点2,000円、2点目から1点1,000円
※高校生は無料
※納入された出品料は返却不可
※郵送の場合は、出品料と申込書を現金書留で送付
○受付・搬入日 平成29年1月14日(土) 10時～16時
○搬入場所 リナシテイかのや2階ギャラリー
※郵送の場合は、〒893-0009 鹿屋市大手町1-1-1 リナシテイかのや芸術文化学習プラザ17時までに必着
○入金 17時までに必着
○市生涯学習課 (6階)
☎0994-31-1138

「関東かのや会」の参加者を募集

- 内容 東京都で開催する「関東かのや会」総会・懇親会の参加者を募集
○日時 11月20日(日) 12時～
○場所 東海大学校友会館(東京都千代田区)
○参加料 7,000円
○申込方法 電話
○その他 新規会員については随時募集
○関東かのや会事務局(藤田)
☎090-14679-1105

○応募方法 申込用紙を直接持参又はFAX
※申込用紙は、リナシテイかのや2階総合受付に置いてあるほか、リナシテイかのやホームページ(http://www.kanoyashimin.jp/)からもダウンロード可能
○応募期限 12月4日(日)
○その他 開講決定通知発送以降の受講辞退も受講料の支払いが必要

平成28年度 後期手作り食品加工講座 受講生を募集

Table with 5 columns: 番号, 講座名, 期日, 時間, 場所. Contains 18 rows of course information.

○内容

- 時間 2時間半～3時間
○受講料 無料
※材料費・保険料として各講座1,000円～2,500円程度が必要
○応募方法 各施設に直接来館又は電話で応募するか、氏名・ふりがな・性別・生年月日・住所・電話番号・希望講座名を記入のうえ市農業研修センターへメール又はFAX
○応募期限 各講座実施日の12日前
○その他
○1歳半～6歳(未就学児)の子どもについては、市農業研修センターのみ事前申込で託児可能
○応募多数の場合は初めての人を優先し、定員を超える場合は抽選
※決定者のみ連絡
○定員に満たない場合は、開講できない場合有り



市農業研修センター ☎・FAX 0994-43-9292 kanoken@zenkei.jp

「門松カード募金」にご協力ください

- 内容 門松カードの販売益金により、緑化の普及啓発活動推進や地域の緑化に役立てられる募金
○価格 20円(2枚1組)
○申込方法 町内会を通じて申し込むか、直接申込
○申込期限 12月16日(金)
○市みどり推進協議会事務局(市農林水産課内・2階)
☎0994-31-1173
各総合支所産業建設課



「平成28年度スポーツセミナー」の受講生を募集

- 内容 データ分析を基にしてトレーニング方法を考える手法を学ぶセミナー
○講師 松尾彰文氏(鹿屋体大大学教授)
○日時 12月10日(土) 17時～18時30分
○場所 鹿屋体育大学スポーツパフォーマンス研究棟
○対象者 高校生以上の競技者、小・中・高校教諭、スポーツ少年団などの指導者、保護者
○受講料 無料
○応募方法 電話



- 受講料 無料
○申込方法 電話又は氏名・所属・電話番号を記入のうえFAX又は専用サイトから電子申請
○申込期限 11月30日(水)
○市民スポーツ課(5階)
☎0994-31-1139
専用サイト QRコード

「世界のクリスマス」の参加者を募集

- 応募期限 平成29年1月23日(月)
○内容など
○期日 12月11日(日)
○場所 カビックセンター及び市民族館
○申込方法 電話又は氏名・住所・年齢を記入のうえメール
○その他 託児を希望する人は12月2日(金)までに申込
○カビックセンター
☎0994-45-3288
info@kabic.jp

Table with 4 columns: 内容, 時間, 定員, 参加料. Contains 4 rows of event information.

「フレゼントに華を添える季節のラッピングセミナー」の受講生を募集

- ◎内容⇒実技を交えてラッピングテクニックを学ぶセミナー
- ◎日時⇒12月1日(木) 14時～16時30分
- ◎場所⇒鹿屋商工会議所
- ◎定員⇒30人(定員になり次第締め切り)
- ◎受講料
- ◎鹿屋商工会議所会員 1,620円
- ◎鹿屋商工会議所非会員 4,320円
- ◎申込方法⇒電話
- ◎鹿屋商工会議所 0994-42-3135

「海上自衛隊鹿屋航空基地見学ツアー」の参加者を募集

- ◎内容⇒海上自衛隊鹿屋航空基地内の施設、航空機の見学及び概要説明
- ◎日時⇒12月11日(日)・18日(日) 9時15分～11時45分・13時15分～15時45分
- ※いずれか1回を選択
- ◎集合場所⇒海上自衛隊鹿屋航空基地史料館駐車場
- ◎対象者⇒日本国籍を有する中

11月は個人事業税の納付月です

- 個人事業税は、県内に事務所又は事業所を持ち、事業を行っている人が納める税金です。8月中旬に県地域振興局等から送付された納税通知書を確認のうえ、納付してください。今年の第2期分の納期限は11月30日(水)です。納期内の納付をお願いします。
- ◎納税方法
- ◎金融機関窓口
- ◎電子収納(ペイジー)収納サービスを利用した、パソコン・スマートフォン・ATM
- ◎口座振替
- ※口座振替の手続きは来年度分から可能
- ◎県大隅地域振興局県税課 0994-52-2097

一県有財産を売却します

県では、県立病院跡地(打馬1丁目)など、未利用となった県有財産(土地・建物)について、随時、購入の申し込みを受け付けています。先着順となりますので、購入を希望される人はぜひお問い合わせください。売却する県有財産の所在地および売却価格、申し込み手続き

お知らせ

- ◎鹿屋市プレミアム商品券を発売します
- ◎内容⇒11,000円分の商品券を10,000円で販売
- ◎販売上限⇒1人50,000円
- ◎販売日⇒11月29日(火)～12月2日(金)
- ◎販売場所⇒鹿屋市西原3-11-2
- ◎販売時間⇒10時～17時
- ◎販売対象者⇒市に住民登録している人
- ◎販売費用⇒2,000円
- ◎申請・接種方法⇒事前に医療機関に接種日時を電話等で予約し、年齢及び住所が確認できる健康保険証を医療機関に持参
- ◎市保健相談センター 0994-41-2110

イベント

- ◎民族館からサンタにお手紙を送ろう
- ◎内容⇒市民族館にある専用のポストからメッセージカードを送ると、抽選でプレゼントが当たるイベント
- ◎期間⇒11月15日(火)～12月11日(日)
- ◎場所⇒市民族館
- ◎当選者数⇒100人
- ◎商品⇒市民族館特製のクリスマスキャラクターのビーズアクセサリーと市民族館無料体験チケット
- ◎お届け日⇒12月24日(金)
- ◎市民族館 0994-45-2872

第41回くらし黒土祭り

- ◎内容⇒農畜産物の直売、農産物獲得クイズ、卵のつかみ取り、大抽選会 など
- ◎日時⇒11月23日(水・祝) 9時～14時30分
- ◎雨天決行

- ◎販売日⇒11月29日(火)～12月22日(木)
- ◎販売時間⇒10時～17時(土・日曜日、祝日を除く)
- ◎11月29日(火)・30日(水)は19時まで
- ◎販売場所⇒市中央公民館、串良総合支所別館、吾平振興会館、輝北総合支所
- ◎販売対象者⇒市に住民登録をされている人
- ◎使用期間⇒11月29日(火)～平成29年2月5日(日)
- ◎使用可能店舗⇒11月15日(火)以降、鹿屋商工会議所ホームページに掲載
- ◎随時更新
- ◎市商工振興課(2階) 0994-31-1164

インフルエンザの予防接種費用を助成します

- ◎助成対象者⇒市に住民登録している人、次のいずれかに該当する人
- ◎満65歳以上の人(接種当日に65歳に達していること)
- ◎満60歳以上65歳未満の人で、心臓・腎臓・呼吸器の機能障害を有する人、又はヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害を有する人で、身体障

一夜の秋の音コンサート

- ◎内容⇒夜の図書館でバイオリン、ピアノ、クラリネットなどの演奏を楽しむイベント
- ◎日時⇒11月27日(日) 19時～20時
- ◎場所⇒市立図書館
- ◎その他⇒当日の図書貸出は18時まで
- ◎市立図書館 0994-43-9380

第38回鹿屋市秋まつり 歩行者天国

- ◎内容
- ◎16日ツール・ド・おおすみe.coサイクリング大会
- ◎おおすみハナマルシエ
- ◎おおすみ漁師飯グランプリ
- ◎TENS POP CULTURE FESTIVAL
- ◎AXF in 鹿屋市秋まつり
- ◎本町ステーションイベント
- ◎北田新酒祭り など
- ◎日時⇒11月27日(日)
- ◎嵐の部⇒8時～16時
- ◎夜の部⇒16時～21時
- ◎場所⇒中央地区商店街

- 害者手帳1級の交付を受けている人
- ◎助成期限⇒平成29年1月31日(火)
- ◎医療機関の休診日は除く
- ◎助成回数⇒1回
- ◎助成費用⇒2,000円
- ◎申請・接種方法⇒事前に医療機関に接種日時を電話等で予約し、年齢及び住所が確認できる健康保険証を医療機関に持参
- ◎市保健相談センター 0994-41-2110



台風16号で被災した農家に対する支援を行います

- 台風16号により被災した農業者(販売農家)に対し、農業施設の復旧や被害作物の再生産に向けた支援を行います。
- ◎内容⇒ビニールハウスや畜舎などの農業施設の再建・修繕・被覆資材の張り替えに必要な経費の一部を助成

かのやオーケストラ第15回定期演奏会



- ◎交通規制⇒8時～22時
- ◎鹿屋市歩行者天国連絡協議会事務局(鹿屋商工会議所内) 0994-42-3135
- ◎曲目
- ◎ドヴォルザーク「交響曲第8番」
- ◎フォーレ「組曲トリー」
- ◎ヘンデル「協奏曲作品6」
- ◎日時⇒12月4日(日) 14時～
- ◎場所⇒市文化会館
- ◎入場料
- ◎大人⇒500円
- ◎高校生以下⇒200円
- ◎未就学児の入場不可
- ◎かのやオーケストラ事務局 0994-43-3547

2016秋「農研祭り」

- ◎内容⇒軽トラ市、フリーマーケット、タイムアートやモザ

- ◎経費の一部を助成
- ◎自然災害を補償の対象に含む農業共済などへの加入が条件
- ◎助成額⇒復旧及び撤去に必要な経費の1/2以内
- ◎農作物再生産支援
- ◎内容⇒被害を受けた野菜・花き・果樹・飼料作物のまき直し・定植に必要な肥料・農薬・種苗などの共同購入経費及び樹勢生育回復に必要な肥料・農薬などの共同購入経費の一部を助成
- ◎対象作物がおおむね30%以上減収していることが条件
- ◎助成額⇒再生産に必要な経費の1/2以内
- ◎共通事項
- ◎助成条件⇒台風16号で被害を受けた施設やほ場であるという市の認定を受けること
- ◎被災状況を確認できる写真などが必要
- ◎申込期限⇒11月25日(金)
- ◎園芸用ハウス・野菜・花き・果樹に関すること
- ◎市農林水産課(2階) 0994-31-1117
- ◎畜舎・飼料作物に関すること市畜産課(2階) 0994-31-1118

第10回ハートフルウィーク

内容	日時	場所
事業所紹介の展示 福祉活動の障害者の作品展示	12/5(月)～10(土) 9:00～16:30 ※12/10(土)のみ12:00まで	市社会福祉会館
映画「39窃盗団」上映会・シンポジウム	12/10(土) 12:30～16:00	リナシティかのや2階ギャラリー

※映画上映会・シンポジウムは、電話による予約が必要

- ◎入場料⇒無料
- ◎ハートフルウィーク実行委員会事務局 肝属地区障がい者基幹相談支援センター内 0994-43-4801

健康づくりに動んでいる地域の高齢者をご紹介します

ACTIVE シニアライフ!!



佐々木 正彦 さん(83歳) 妻 千穂 さん(81歳) ご夫妻

市では、生涯に渡って自分の歯でものを噛むことにより健康を保つことを目的とした「8020 運動」を推進し、80 歳以上で自分の歯を 20 本以上保持している人を表彰しています。今回、夫婦で「8020 表彰」を受けた、西原 2 丁目の佐々木正彦さん・千穂さんにお話を伺いました。

夫の正彦さんは、元・自衛官。「職業柄、若いころから体を動かす習慣がついていた」とのことで、自衛隊の業務とし

ての訓練のほか、業務外でも同僚と多くのスポーツを体験したそうです。現在でも硬式テニスと卓球をそれぞれ週 2 回楽しんでるそうです。

妻の千穂さんは、子どものころから学び、「生涯の生きがい」と話し、着付けと日本舞踊の教室を主宰。日々生徒に教える中で、体を動かすことが日常生活に組み込まれて、健康が維持されているとのこと。

お二人が健康維持のために意識して実践することは、「自分の健康は自分で守る」こと。テレビで健康に関する情報が放送されると早速試したり、毎日の血圧測定やラジオ体操、定期的な健診・歯科検診の受診など、夫婦で積極的な健康維持に取り組んでいらっしゃいます。

今回の 8020 表彰にあたって、「丈夫に産んでくれた親や、これまで出会った皆さんに感謝します」と話すお二人から、歯の健康維持のために取り組んでいることとして、4 つのことを紹介していただきました。

- 良く噛んで食べる
特に、繊維質が豊富な野菜類を意識して食べることで、噛む回数が増えて歯の健康も維持される。
- 歯磨きに気を遣う
毎食後の歯磨きにおいて、歯間ブラシや電動歯ブラシなどを適切に活用することも、歯の健康維持に効果的。
- 「かかりつけ歯科医」を持つ
「かかりつけ歯科医」による定期的な歯科検診で、専門的な視点から歯と口の健康を管理。
- 継続する
歯や口を含めて、健康維持に役立つことは、その場限りではなく継続して取り組むことが重要。

11月・12月 休日救急当番医・歯科休日急患在宅医

鹿屋市医師会		診療時間 8:30 ~ 18:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
11 月 13 日	㊤中塩医院	西原 1 丁目	43-2489
	㊦やのファミリークリニック	寿 4 丁目	43-6248
	㊧恒心会おぐら病院	笠之原町	44-7171
20 日	㊨池田病院	下蔵川町	43-3434
	㊩おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
23 日	㊪そえじまクリニック	旭原町	41-6800
	㊫中原クリニック	横山町	48-2011
	㊬えとう小児科	札元 2 丁目	40-3700
27 日	㊭徳田脳神経外科病院	打馬 1 丁目	44-1119
	㊮伊東クリニック	札元 2 丁目	43-3500
	㊯こだま小児科	笠之原町	41-5111
12 月 4 日	㊰小林クリニック	上谷町	41-0700
	㊱長崎内科	笠之原町	43-2195
	㊲おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
11 日	㊳鯨島整形外科病院	寿 1 丁目	43-2535
	㊴浜崎クリニック	向江町	43-3305
	㊵まつだこどもクリニック	西原 2 丁目	52-0507
	㊶大隅鹿屋病院	新川町	40-1111

肝属東部医師会		診療時間 9:00 ~ 17:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
11 月 13 日	春陽会中央病院	肝付町新富	65-1170
	花田整形外科・リウマチ科医院	串良町有里	63-1379
20 日	山内クリニック	肝付町前田	65-8181
	黎明脳神経外科医院	串良町上小原	63-7878
27 日	ルミコ医療ステーション	肝付町新富	65-0921
	児玉医院	東串良町川東	63-8522
12 月 4 日	吉川医院	肝付町前田	65-2022
	岩重医院	東串良町川東	63-8514
11 日	小浜クリニック	吾平町上名	58-6025
	山路医院	東串良町池之原	63-2134

鹿屋市歯科医師会		診療時間 9:00 ~ 15:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
11 月 13 日	安楽歯科	寿 5 丁目	44-2220
20 日	貴島歯科医院	札元 1 丁目	44-5000
23 日	けいこ歯科	寿 4 丁目	40-0418
27 日	近藤歯科医院	西原 4 丁目	44-5373
12 月 4 日	さかもと歯科クリニック	寿 8 丁目	44-2003
11 日	重久歯科医院	向江町	42-4470

※休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医は、変更になることがあります。各医療機関にご確認のうえ受診してください。
※休日救急当番医の診療は、急病に対する処置ですので、翌日はかかりつけの医師などの診療を受けてください。
原則として、投票期間は通常 1 日分とします。

○大隅肝属地区消防組合テレホンサービス ☎ 0994-43-0119

平日/午後 5 時から夜間救急当番医を案内
※ただし、火災発生時は一時火災情報に変わります。
休日/休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医を案内



毎月 月楽しみに読ませていただきます。特に「明日への扉」では、鹿屋の若者が志を持って努力し、鹿屋のまちで誇りを持って身を立って行く様子とこれからの夢が語られ、本当に参考になります。高校に通う娘・息子への何よりの進路指導になります。ずっと続けてほしいです。(T・A さん・51 歳・女性)

お便りありがとうございます。 「明日への扉」は、今月号で 23 回目を迎えますので、約 2 年間取材してきたことになりました。各々の道で失敗や挫折を味わいつつも、夢に向かってひたむきに努力してきた皆さんが「明日への扉」を開くとき、きっと輝かしい未来が待っていることと思います。今後の活躍にも期待したいですね。

9 月号に載ったナミクダヒゲエビが美味しそうで食べてみたいです。鹿屋市漁業協同組合で販売していますか？(さくら草さん・60 歳・女性)

お便りありがとうございます。ナミクダヒゲエビは、鹿屋市漁業協同組合(市漁協)が直営している「みなと市場(市漁協版)」で、生と冷凍を取り扱っています。また、市漁協市場の屋根下(道路沿い)でも販売しています。ただし、6 月の禁漁期間やシケ等の影響で販売できない場合がありますので、在庫があるか電話でご確認ください。みなと市場(☎0994・31・8008)、市漁協(☎0994・46・3111)

いつも楽しみに拝読しています。台風(16号)が数年ぶりに大隅半島に上陸しました。とても怖かったです。家庭菜園もメチャクチャになり、玄関の壁に頑丈に取り付けていたポストまで壊れてしまいました。でも、大きな被害にあわれた方もいらっしゃるでしょうから、我が家はこの程度で済んで助かったと思います。(M・S さん・40 歳・女性)

今回の台風 16 号は、猛烈な風雨で、県内では特に大隅半島に大きなつめ跡を残していきました。鹿屋市においても、住宅や道路、橋りょう、そして農作物等に被害が及ぼしたもので、その影響を受けた方も多いのではないかと思います。市としま

しても、一刻も早く復旧・復興するよう全力で取り組んでまいります。話を聞いたり、書類を書くときとても有り難いです。子育て支援課にある今のすだと、子どもが落ちたしまったり、動き回ってしまうので、子どもが気になり、保護者も役所の人も気がでない中で、話をしたり聞いたりする状態です。ぜひ、子ども用のいすの設置をお願いします!!(M・F さん・男性)

子育て支援課へは、保育所の入所相談や子どもに関する各種助成の申請等で来庁される人が多いため、小さなお子さんをお連れになることが多い状況です。ご意見を検討した結果、大人用のいす子にお子さんか座っている状態では、お子さんの動きに配慮する必要があります。また抱きかかえたままでは書類の作成等にも支障をきたすことから、子ども用(乳幼児向け)のいすを 9 月に購入し、子育て支援課に配置しました。

このほか、今号で掲載できなかったお便りについては、ホームページで公開しています。

※キリトリ線

8 9 3 - 8 5 0 1

No.261

市民の皆さんからのお便りを募集

広報誌への感想や、市へのご意見のほか、地域のイベントや出来事、お勧めスポットなど多くの情報もお寄せください。

お便りをいただいた方の中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています!

※掲載時に、原稿の一部を手直しする場合もございます。

〒 893-8501 鹿屋市共栄町 20-1
市政推進課
「市民のひろば」係
☎ 0994-31-1123



お手数ですが
52円切手を
お貼りください

鹿屋市役所 政策推進課 Kanoya 「市民のひろば」発行

お名前/ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢/性別

歳 男・女

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント

要・不要



感覚の競技カヌーで魅せる 目指すは東京オリンピック

明日への扉

No.23

Masahiro Maeda

前田 将宏 さん



大会で学校を空ける時も多かったが、先生や友だちの支えもあり、勉強も頑張ることができた。一般入試で大学に入るため、現在は、しばしカヌーから離れて、受験勉強に集中。(中央が前田さん)

平成10年鹿屋市吾平町生まれ。吾平小学校、吾平中学校卒業。今年8月に山口県で開催された高校総体では、カヌースプリント男子カヤックシングル200mで悲願の初優勝。中学1年生から最近まで鹿屋市カヌークラブのキャプテンを務めた。鹿屋高校3年生。(18歳)

吾平町が昔からカヌーが盛んな町だったことや、6歳離れている一番上の兄がカヌーを習っていたこともあり、小さい頃からカヌーには慣れ親しんでいました。私がカヌーをやり始めたのは小学5年生の時。吾平町カヌースポーツ少年団(現・鹿屋市カヌークラブ)に入り、現役の国体選手でもある鶴崎辰徳先生の指導のもと、地元の始良川で練習する毎日でした。入団後、一番最初の試合で負けたことがすごく悔しく、そこから、「負けたくない」という気持ちを持って練習するようになりました。出場種目であるカヤックシングルは、カヤック(艇)に1人座って乗り、1本のパドルを使って、左右両方の水面を漕ぐもので、9艇が並んでスタートし、5000mや2000mなどのタイムを競います。中学1年生の時、高校からカヌーをやり始めて1か月しか経験の無い二番目の兄に、タイムで負けたことに大変なショックを受け、それから誰よりも、1日でも1時間でも多く練習するようになりました。兄だけには負けたくないという気持ちがあったからです。練習の成果もあり、中学3年生の時には東京国体に出場。カヤックシングル2000mで7位に入賞しました。それから高校3年生まで、高校総体や国体などの全国レ

FMかのや分・MHz
11月28日(月)9時5分から
前田 将宏さんが出演
(予定)

大学でもカヌーを続け、大学4年生の時に開催される東京オリンピックへの出場を目指します。そして大学卒業後は引退し、指導の道を歩みたいという夢もあります。ぜひ多くの子もたちにカヌーの楽しさを知ってほしいです。

「この感覚を忘れてはいけない」と思うようになりました。そして、集大成とも言える今年の夏の高総体では、2000mで優勝、5000mでも準優勝を勝ち取ることができました。

カヌーの魅力は、水面を滑るように漕ぐ楽しさと、培った感覚で競技できるということ。また、練習をやればやっただけ、記録を伸ばせる競技であるということも魅力の一つだと思います。

ベルの大会に毎年出場し、好成績を収めるようになってきました。しかし、これまですべてが順調だったわけではなく、高校1年生の時にはスランプも経験しました。それは、漕いだ時の感覚的な違和感から始まり、どうしても治せませんでした。このスランプは、鹿屋市の事業で招かれていた有名な県外の指導者の何気ない一言で劇的に改善しました。この時から「この感覚を忘れてはいけない」と思うようになりました。

マチロク ~いつもの街の貴重な記録~

鹿 屋市立准看護婦学校第1期生の戴帽式の様子です。昭和47年版の鹿屋市史によると、太平洋戦争後、診療施設は急増したものの、資格を持つ看護師が不足し、見習いで補うしかない状態でした。また、本市には正式な資格取得のための機関もなかったため、昭和38年4月1日に市立准看護婦学校を開校しました。当時の定員は40人で、生徒は市内の病院等で働きながら学び、卒業後は地域医療に貢献されてきました。現在は鹿屋看護専門学校と校名は変わりましたが、患者さんの役に立ちたいと88人の皆さんが日々看護の勉強をされています。

市文化財センター ☎0994-31-1167

かのや活動レポート

先日、市役所～吾平山上陵までの30kmのコースで、「CIELE BLUE鹿屋 FUNRIDE～塚越さくらリオ五輪応援ありがとうサイクリング～」を開催し、80人に参加いただきました。

参加者の皆さんには、オリンピック選手と交流しながらのサイクリングということもあり、大変喜んでいただきました。30kmと聞くと、大変と思う人も多いと思いますが、自転車は心地よい季節の風を直接感じることができるのであつという間です。今後も楽しい自転車イベントを企画・開催していきますので、皆さん、一緒に楽しくサイクリングしましょう。

今回の報告者
木下 菜葉 隊員

Present

応募×切 12/9

当選者の発表は、商品引換券の発送をもって代えさせていただきます。



選べるギフトカード/3名様
株式会社 JA食肉かごしま
鹿屋工場
鹿屋市川西町3874-7

JA食肉かごしまが生産する、黒豚しゃぶしゃぶセット・黒豚セット・黒豚ロースとんかつ・黒豚加工品セット・茶美豚加工品セットから、お好きなセットを選んで受け取るギフトカードを3名様にプレゼント!

お便り&メッセージ

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は、抽選・賞品引換券の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはありません。

事前のご相談からお葬式・葬儀後まで
「すべてを任せる安心」をお約束いたします。



家族葬の池田屋 24時間対応 ☎0994-44-4440
株式会社 Ligare 田崎斎場 田崎町108
ハイパス斎場 鹿屋市大浦町14042-8

新中学生制服採寸受付中!



小学生・中学生制服の
採寸特価セール実施中!!
お早めにご来店ください。

市内各小・中学校標準服取扱店
学生服・セーラー服の
いけのうえ
南池之上百貨店 鹿屋市向江町8-3 ☎42-2191 ☎0120-80-7777

皆様の「あったらいいな」をかたちにしました!
費用を抑えながらも充実内容のプラン
http://ikedasousai.jp

通夜・葬儀もきっちり行い、必要なサービスもすべて含んだ家族葬のプランをご用意いたしました。

親戚や友人を交えて送る **家族葬**
158,000円 (税別)より
通夜・葬儀でのお食事や飲み物をはじめ、供花・供物やお返し物の持ち込みも当社では無料です。

●家族葬のご依頼・ご相談は
池田葬祭 ☎0120-269-556 365日24時間受付!
鹿屋市王子町3967-3(バイパス沿い)

ちよどい 広きの家族葬ホール
ことぶき 中央斎場 鹿屋市寿4丁目1-18 (マックスバリュ寿店前)
にしはら 中央斎場 鹿屋市今坂町12403-9 (マックスバリュ西原店前)

公益社団法人いちょうの樹
メンタルホスピタル鹿屋
電話:0994-42-3155 鹿屋市田崎町1043-1
http://oosumi-hp.jp/

認知症に関するご家族のお悩みがあれば、お気軽にご相談下さい。

鹿児島県指定 認知症疾患医療センター
認知症疾患専門相談 電話:0994-36-1870

就労継続支援施設 あいはと
(障がい者福祉サービス事業所 就労支援B型)

平成28年7月1日に設立しました障がい者福祉サービス事業所(就労支援B型)です。就労継続支援施設あいはとは皆様と楽しく就労する事業所です。皆様が日々楽しく笑顔で生活できるようご支援、ご協力して下さい。

ご利用者様 募集中!!
☐対象者→身体障がい者 難病者等
☐食事→無料です。課税者の方は1食100円頂きます。
☐工賃→1日1000円 4時間ほど就労して頂きます。時給250円です
《作業内容》・袋詰め作業 ・シール貼り作業

就労継続支援施設 あいはと
〒893-1611 鹿児島県肝属郡東串良町岩弘 2648-2
TEL.0994-63-0730

斎場が新しくなりました
もしもの時に備えてお客様とみち葬祭を結ぶ「みらしるべ」会員募集中
リニューアル記念として特典を多数ご用意しています。詳しくはお気軽にお問合せ下さい。

(有)みち葬祭 白崎斎場
TEL:0994(42)3536 24時間安心の365日対応
鹿児島県鹿屋市白崎町17-51

安心と信頼の全葬連グループ
全葬連とは経済産業大臣認可の日本で最大の専門業者の団体です。

http://kanoya-pet.com/

たくさんの思い出をありがとう。

お問い合わせ・ご相談は
0994-45-3400
〒893-0132 鹿児島県鹿屋市下高隈町6000-7(きもつき苑手前)
(有)池田大仏堂グループ

広告のひろば
(株)総合印刷 ☎0994-43-2093

広告のひろばは、各事業所の広告を掲載することで、市民の皆さんへの情報提供を目的としています。また、市の自主財源確保の一環として行っています。広告に関するお問い合わせは、印刷会社、市政推進課になります。お気軽にお問い合わせください。